

「死亡災害ゼロの日連続 250 日」活動のお知らせ！



鹿嶋労働基準監督署

当署で推進している「死亡災害ゼロの日連続 250 日」活動につきましては、平成 25 年 6 月 29 日から再スタートして取り組んでまいりましたが、9 月 18 日に死亡災害が発生したため、残念ながら 81 日間で途絶えました。

今後も引き続き『死亡災害ゼロの日連続 250 日』を掲げて、死亡災害撲滅への取り組みを推進してまいりますので、各事業場の皆様方におかれましては、それぞれの職場において安全管理状況を点検していただき、労使一体となって労働災害防止に取り組まれますようお願いいたします。

ス タ ー ト

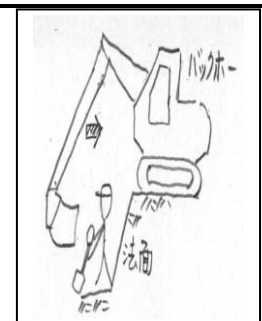
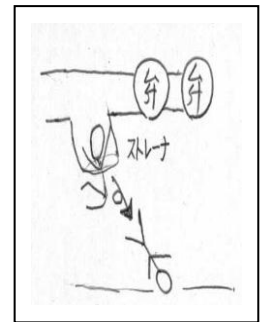
平成 25 年 9 月 19 日

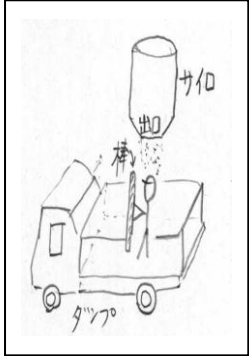
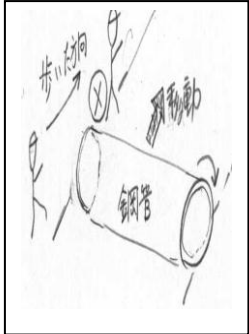
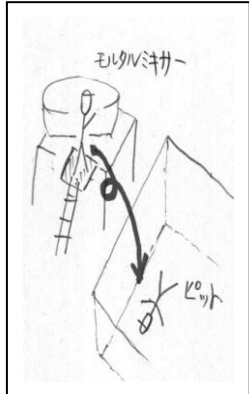
まずは 死亡災害ゼロ 連続 150 日 平成 26 年 2 月 15 日
 目標 死亡災害ゼロ 連続 250 日 平成 26 年 5 月 26 日

※ 過去最長：平成 22 年 9 月 17 日～平成 23 年 10 月 19 日までの 398 日間

平成 25 年死亡災害事例

| 番号 | 業 種 | 発生月 | 事故の型 | 発 生 状 況 |
|----|-----------|-----|------|--|
| 1 | 電気機械器具製造業 | 1 月 | 爆発 | <p>火力発電所内のガスタービン発電設備へ供給する都市ガス配管の点検を行っていた。被災者は、フランジを外しストレーナ（フィルタ）を取り出した開口部（直径約 40 cm）から、ヘルメットを外し上半身を開口部内へ入れて、配管内部の異物を確認していたところ、配管内部で爆発し、被災者は押し出され、後方に倒れ頭部を強打し死亡した。被災者は派遣労働者で、プラントエンジニアであった。</p> <p>（発生場所 神栖市）</p> |
| 2 | 土木工事業 | 3 月 | 激突され | <p>災害復旧排水路工事現場において、被災者は法面下で、ドラグショベル（バックホー）のバケットからスコップにより、生コンをすくい取り型枠に流し込んでいた。ドラグショベル運転手の腕が操作レバーに接触したはずみで、バケットが動き法面とバケット間に挟まれ死亡した。</p> <p>（発生場所 潮来市）</p> |



| 番号 | 業種 | 発生月 | 事故の型 | 発生状況 |
|----|-----------|-----|-------|--|
| 3 | 商業 | 5月 | 崩壊 | <p>おが屑の集荷先の笠間市内の工場において、サイロの下部に8トンダンプを止めて、おが屑を積み込もうとした。サイロの排出口を開いたところおが屑が詰まって排出されなかったため、荷台に乗って棒を持ちサイロ出口を突いたところ、おが屑が一気に排出されたため、おが屑の下敷き(生き埋め)になって死亡した。 (発生場所 笠間市)</p>  |
| 4 | 鉄鋼業 | 6月 | 挟まれ | <p>大径管工場の鋼管出荷作業場において、作業員2名により鋼管(外径約0.7m、長さ約18m、重量約6t)を搬送ライン機械によって移動させる作業を行っていた。同僚が、鋼管はね上げ装置を作動させて鋼管を転がしたところ、鋼管の前方にいた被災者が鋼管端部に接触し鋼管に轢かれ死亡した。 (発生場所 鹿嶋市)</p>  |
| 5 | 窯業土石製品製造業 | 9月 | 墜落・転落 | <p>モルタル原料(粉性)を製造する作業場において、被災者は自社製架台に載ったモルタルミキサー付属の作業床(大きさ70cm×60cm)に立って、セメント袋を持ってミキサー内に投入していたところ、ピットの底へ墜落した。モルタルミキサー架台はピットの側に置かれ、作業床までの高さは地上から約2.3m(ピットの底から5.8m)の位置にあり、作業床には手すり等が取り付けられていなかった。 (発生場所 神栖市)</p>  |

